



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月8日

上場会社名 日本金銭機械株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6418 URL <https://www.jcm-hq.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上東 洋次郎
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役上席執行役員 (氏名) 高垣 豪 TEL 06-6703-8400
 経営企画本部長
 四半期報告書提出予定日 2022年11月9日 配当支払開始予定日 2022年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有 (ホームページに掲載)
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績 (2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	12,284	36.3	600	118.6	1,658	410.6	1,292	642.1
2022年3月期第2四半期	9,009	11.2	274	—	324	—	174	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 2,759百万円 (290.0%) 2022年3月期第2四半期 707百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	43.56	—
2022年3月期第2四半期	5.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	36,302	25,786	71.0	869.12
2022年3月期	33,144	23,169	69.9	781.16

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 25,786百万円 2022年3月期 23,169百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2023年3月期	—	3.00	—	—	—
2023年3月期 (予想)	—	—	—	5.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
2023年3月期	24,400	21.8	100	△82.4	1,250	△9.7	2,300	279.9	77.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	29,672,651株	2022年3月期	29,662,851株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	2,749株	2022年3月期	2,704株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	29,663,391株	2022年3月期2Q	29,660,237株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループを取り巻く経営環境については、新型コロナウイルス感染症の影響が一服し経済活動が活発化する一方で、ロシア・ウクライナ情勢等の地政学的リスクに起因する資源価格や原材料価格の高騰やサプライチェーンの混乱に加えて、急速な円安の進行などにより、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような市場環境の中、米国及び欧州ゲーミング市場ではコロナ禍前の活況を取り戻しつつあることで、顧客であるカジノホテル等の設備投資意欲が高水準で推移し、また、国内外のコマーシャル市場でも、中国政府のコロナ政策による規制強化の影響で一部販売の減衰が見られた例を除き、同様に総じて顧客の需要は堅調に推移いたしました。一方で、国内の遊技場向機器市場では、本年11月より順次、スマート遊技機の導入が開始されることに伴い、顧客の設備機器における投資は慎重を期する状況にありました。

以上のように、遊技場向機器セグメント以外は各地域とも、概ね当社製品に対する需要の回復傾向が見られる一方で、サプライチェーンの混乱に端を発した半導体を中心とした電子部材等の供給不足の影響が長引いており、特に当第2四半期には一部製品について生産及び納期遅延の発生や、部材の値上がりによる原価上昇など、業績、とりわけ利益面の伸びが減速する傾向が顕著になりました。

このような状況の下、入手困難な主要部材については市場流通品の確保や、製品の設計変更による当該部材の使用回避などにより、製品供給に最大限の尽力を行いました。加えて、北中米コマーシャル市場のシェア拡大に向け設立した新会社を中心に、北中米のみならず南米地域においても積極的にマーケティング活動を実施することで、新たな市場の獲得、シェアの拡大などに努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、12,284百万円（前年同四半期比36.3%増）となりました。利益面においても売上高の増加に伴い、営業利益は600百万円（前年同四半期比118.6%増）、さらに急速な円安の進行に伴う為替差益982百万円の計上などにより、経常利益は1,658百万円（前年同四半期比410.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,292百万円（前年同四半期比642.1%増）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の平均為替レートは、米ドル124.52円（前年同四半期は108.46円）、ユーロは135.22円（前年同四半期は130.48円）で推移いたしました。また、当第2四半期連結会計期間末の時価評価に適用する四半期末日の為替レートは、米ドル144.81円（前連結会計年度末は122.41円）でありました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①グローバルゲーミング

北米カジノ等のゲーミング市場における客足の増加に伴い、当社製品に対する需要の回復、拡大が顕著にみられ、また、当社でも部材不足等による納期遅延が懸念される中、製品の納入に最優先で取り組んだことなどから、当セグメントの売上高は7,073百万円（前年同四半期比71.4%増）、セグメント利益は1,015百万円（前年同四半期比34.1%増）となりました。

②海外コマーシャル

前年に引き続き、セルフレジ精算機用に欧州地域での紙幣識別機ユニット及び紙幣還流ユニットの販売が好調である一方で、アジア地域向けの販売が一部減少となったことなどから、当セグメントの売上高は2,303百万円（前年同四半期比4.7%増）、セグメント利益は54百万円（前年同四半期比4.2%減）となりました。

③国内コマーシャル

コロナ禍における新型コロナウイルス感染拡大防止対策としての非接触・非対面決済用途で、飲食店券売機及びホテルチェックイン精算機向けの紙幣還流ユニットの販売が増加したことなどから、当セグメントの売上高は917百万円（前年同四半期比12.7%増）、セグメント利益は93百万円（前年同四半期比177.9%増）となりました。

④遊技場向機器

本年11月以降、スマート遊技機の市場への導入が決定されたことに伴い、それまでの間、パチンコホール各社において設備投資に慎重さを期す傾向が顕在化したため、当セグメントの売上高は1,989百万円（前年同四半期比6.5%増）、セグメント損失は147百万円（前年同四半期は178百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて3,158百万円増加し、36,302百万円となりました。

流動資産合計は、前連結会計年度末に比べて2,850百万円増加し、30,927百万円となりました。「現金及び預金」が641百万円、「受取手形、売掛金及び契約資産」が533百万円、棚卸資産が1,704百万円それぞれ増加いたしました。

固定資産合計は、有形固定資産の取得等により前連結会計年度末に比べて311百万円増加し、5,335百万円となりました。

繰延資産合計は、社債発行費の償却により前連結会計年度末に比べて3百万円減少し、38百万円となりました。

流動負債合計は、前連結会計年度末に比べて801百万円増加し、6,208百万円となりました。「未払法人税等」が209百万円、契約負債の増加などにより流動負債の「その他」が821百万円それぞれ増加した一方、「支払手形及び買掛金」が105百万円、借入金返済により「短期借入金」が119百万円それぞれ減少いたしました。

固定負債合計は、前連結会計年度末に比べて260百万円減少し、4,307百万円となりました。借入金返済により「長期借入金」が300百万円減少いたしました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2,617百万円増加し、25,786百万円となりました。譲渡制限付株式報酬としての新株式発行に伴い「資本金」及び「資本剰余金」がそれぞれ3百万円増加し、また、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により「利益剰余金」が1,143百万円、在外子会社の時価評価による「為替換算調整勘定」が1,470百万円それぞれ増加いたしました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、641百万円増加し、14,883百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は456百万円（前年同四半期は450百万円の収入）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益1,658百万円などにより資金が増加した一方、棚卸資産の増加574百万円、仕入債務の減少567百万円などにより資金が減少したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、支出した資金は97百万円（前年同四半期は144百万円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の売却に係る手付金収入133百万円などにより資金が増加した一方、有形固定資産の取得による支出97百万円、差入保証金の差入による支出82百万円などにより資金が減少したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、支出した資金は597百万円（前年同四半期は951百万円の収入）となりました。これは主に長期借入金の返済300百万円、配当金の支払148百万円などにより資金が減少したことによるものであります。

また、これらのほかに、現金及び現金同等物に係る換算差額879百万円の資金の増加がありました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年8月3日付に公表いたしました2023年3月期通期連結業績予想値を修正しております。

詳細につきましては、本日別途開示しております「営業外収益（為替差益）の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,261,965	14,903,100
受取手形、売掛金及び契約資産	3,792,187	4,325,671
電子記録債権	198,798	325,913
商品及び製品	4,380,470	5,249,598
仕掛品	759,813	941,425
原材料及び貯蔵品	3,782,713	4,436,349
その他	1,087,231	933,278
貸倒引当金	△185,710	△187,416
流動資産合計	28,077,468	30,927,921
固定資産		
有形固定資産	3,233,490	3,386,432
無形固定資産	95,740	106,996
投資その他の資産		
その他	1,759,381	1,922,973
貸倒引当金	△64,114	△80,500
投資その他の資産合計	1,695,267	1,842,472
固定資産合計	5,024,498	5,335,901
繰延資産	42,091	38,583
資産合計	33,144,058	36,302,406
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,133,138	2,027,770
短期借入金	119,552	—
1年内返済予定の長期借入金	600,000	600,000
未払法人税等	202,602	412,288
賞与引当金	249,000	252,800
役員賞与引当金	6,000	—
事業構造改善引当金	253,436	250,665
その他	1,842,751	2,664,677
流動負債合計	5,406,480	6,208,202
固定負債		
社債	2,000,000	2,000,000
長期借入金	2,100,000	1,800,000
その他	468,266	507,478
固定負債合計	4,568,266	4,307,478
負債合計	9,974,747	10,515,681
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,216,945	2,220,316
資本剰余金	2,762,525	2,765,896
利益剰余金	18,790,970	19,934,750
自己株式	△2,379	△2,410
株主資本合計	23,768,061	24,918,553
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	151,789	147,737
為替換算調整勘定	△750,540	720,433
その他の包括利益累計額合計	△598,750	868,171
純資産合計	23,169,310	25,786,725
負債純資産合計	33,144,058	36,302,406

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	9,009,600	12,284,297
売上原価	5,485,934	7,655,653
売上総利益	3,523,665	4,628,643
販売費及び一般管理費	3,249,004	4,028,347
営業利益	274,660	600,295
営業外収益		
受取利息	3,130	1,617
受取配当金	25,864	31,593
為替差益	33,410	982,967
その他	18,073	63,263
営業外収益合計	80,478	1,079,442
営業外費用		
支払利息	14,604	14,457
その他	15,791	7,245
営業外費用合計	30,396	21,703
経常利益	324,742	1,658,034
特別利益		
固定資産売却益	—	580
特別利益合計	—	580
特別損失		
固定資産除却損	152	12
特別損失合計	152	12
税金等調整前四半期純利益	324,589	1,658,602
法人税、住民税及び事業税	127,933	345,455
法人税等調整額	22,538	21,065
法人税等合計	150,472	366,521
四半期純利益	174,117	1,292,081
親会社株主に帰属する四半期純利益	174,117	1,292,081

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	174,117	1,292,081
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△87,630	△4,051
為替換算調整勘定	620,973	1,470,973
その他の包括利益合計	533,342	1,466,921
四半期包括利益	707,460	2,759,003
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	707,460	2,759,003
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	324,589	1,658,602
減価償却費	91,450	105,466
引当金の増減額 (△は減少)	△24,346	△1,366
受取利息及び受取配当金	△28,994	△33,211
支払利息	14,604	14,457
為替差損益 (△は益)	△142,499	△721,052
有形固定資産除売却損益 (△は益)	152	△567
売上債権の増減額 (△は増加)	△507,579	9,447
棚卸資産の増減額 (△は増加)	775,464	△574,479
仕入債務の増減額 (△は減少)	673,853	△567,584
未収消費税等の増減額 (△は増加)	61,568	84,929
その他	△249,708	506,762
小計	988,556	481,405
利息及び配当金の受取額	28,650	32,866
利息の支払額	△10,833	△14,400
早期希望退職関連費用の支払額	△468,306	—
法人税等の支払額	△87,829	△43,582
営業活動によるキャッシュ・フロー	450,237	456,288
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の純増減額 (△は増加)	△9	—
有形固定資産の取得による支出	△120,455	△97,593
有形固定資産の売却による収入	—	580
有形固定資産の売却に係る手付金収入	—	133,108
無形固定資産の取得による支出	△22,803	△11,294
投資有価証券の取得による支出	△916	△39,751
差入保証金の差入による支出	—	△82,604
その他	—	200
投資活動によるキャッシュ・フロー	△144,184	△97,354
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△4,300,000	—
短期借入金を増減額 (△は減少)	336,354	△119,552
長期借入れによる収入	3,000,000	—
長期借入金の返済による支出	—	△300,000
社債の発行による収入	1,950,893	—
配当金の支払額	△234	△148,661
リース債務の返済による支出	△35,927	△28,966
自己株式の取得による支出	△43	△30
財務活動によるキャッシュ・フロー	951,043	△597,210
現金及び現金同等物に係る換算差額	266,509	879,411
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,523,605	641,134
現金及び現金同等物の期首残高	12,413,846	14,241,965
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,937,451	14,883,100

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年7月26日開催の取締役会決議に基づき、2022年8月24日付で譲渡制限付株式報酬としての新株式発行を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ3,371千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が2,220,316千円、資本剰余金が2,765,896千円となっております。

(追加情報)

(重要な固定資産の譲渡)

当社は、2022年8月3日開催の取締役会において、当社が保有する固定資産を譲渡することについて決議しました。

固定資産の譲渡

1. 固定資産の譲渡理由

現本社事務所は、創業初期のわずかな期間を除き、当社の主要な事業所として、業容の拡大に合わせて規模の拡大や増改築等により、その機能の維持に努めてまいりました。

今後も現地に建物増改築等により、その機能を維持することも可能ではあるものの、周辺の住宅開発が進むなどその拡張余地が限られ、重要機能の再配置、工場等への分散によるBCPへの対応、従業員の安全の一層の確保、会社財産の擁護及び資本効率の向上等の各方面から検討を進めた結果、本社事務所を最新のオフィスビルに移転するとともに、現本社事務所の不動産を売却することが、最善であると判断したものであります。

2. 譲渡資産の内容

資産の名称	資産の所在地及び内容	現況
大阪本社 (大阪市平野区) 土地・建物	大阪市平野区西脇二丁目3番15号 土地面積 3,494.22㎡ 建物延床面積 8,703.48㎡	本社事務所

3. 譲渡先の概要

譲渡先は国内法人であります。譲渡先との守秘義務契約により公表を控えさせていただきます。

また、譲渡先と当社との間には、記載すべき資本関係、人的関係及び取引関係はなく、当社の関連当事者にも該当いたしません。なお、譲渡先が反社会的勢力ではないことも確認しております。

4. 譲渡の日程

- (1) 取締役会決議日 2022年8月3日
- (2) 契約締結日 2022年8月3日
- (3) 物件引渡期日 2023年3月下旬 (予定)

5. 当社業績に与える影響

当該固定資産の譲渡に伴い、2023年3月期において、「固定資産売却益」として約15億9百万円の特別利益を計上する見通しであります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 財務諸表 計上額
	グローバル ゲーミング	海外コマー シャル	国内コマー シャル	遊技場 向機器	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,127,224	2,200,849	813,762	1,867,763	9,009,600	—	9,009,600
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,127,224	2,200,849	813,762	1,867,763	9,009,600	—	9,009,600
セグメント利益又は 損失(△)	757,079	57,390	33,770	△178,477	669,763	△395,102	274,660

(注)セグメント利益又は損失の調整額は、各セグメントに配分していない全社費用です。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 財務諸表 計上額
	グローバル ゲーミング	海外コマー シャル	国内コマー シャル	遊技場 向機器	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,073,286	2,303,820	917,366	1,989,823	12,284,297	—	12,284,297
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	7,073,286	2,303,820	917,366	1,989,823	12,284,297	—	12,284,297
セグメント利益又は 損失(△)	1,015,242	54,977	93,859	△147,162	1,016,916	△416,620	600,295

(注)セグメント利益又は損失の調整額は、各セグメントに配分していない全社費用です。